

三和区宮崎新田市有地内産業廃棄物撤去について（第 7 報）

暑い日が続いていますが、三和区宮崎新田市有地内の産業廃棄物撤去現場では、順調に撤去作業が進んでいます。

先月 14 日には市主催の現地視察会が、また 19 日には三和村土地改良区主催の現地視察が開かれ、合わせて 30 人の皆様から、廃棄物の撤去により姿を表した地山の様子や、残る廃棄物の状態を確認いただきました。今回は、その視察の様子を中心にお知らせします。

6 月は 1,786 t を搬出し、累計搬出量は 9,890 t となり、推定処理量 11,200 t に対する進捗率は 88.3% となりました。

なお、現場からの廃棄物の撤去作業は、お盆までに終了の見込みで、その後の地面をならす成形作業は、9 月末までに完了の予定です。本撤去業務に対し、引き続き、地元の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

1 推定処理量・搬出量・処理費用（平成 30 年 6 月末現在）

（単位：t）

搬出量等	木くず	コンクリートがら	プラスチック	金属	自然石	雑物類	汚泥
推定処理量 11,200 ①	1,055	2,204	10	174	200	77	7,480
5 月末までの搬出量 8,104	51	50	6	25	21	セメント資源化 最終処分場に埋立て	930 7,021
当月搬出量 1,786	0	0	0	0	0	セメント資源化 最終処分場に埋立て	78 1,708
累計搬出量 9,890 ②	51	50	6	25	21	セメント資源化 最終処分場に埋立て	1,008 8,729
進捗率 (②÷①×100) 88.3%	処理費用 (着手から 6 月搬出分の処理まで)		約 3 億 3,000 万円				

2 現場視察会等の結果

■市主催の現地視察会…7 月 14 日（土）に 16 人が参加、更なる土砂撤去や急峻な掘削跡の崩落の危険性などについて質問がありました。主な内容は次のとおりです。

No.	質問	回答
1	・谷側 L 型擁壁の土砂は、場内の汚水が集まり汚染されているので、廃棄物が含まれていなくても撤去すべきではないか。	・今回の作業は、代執行時に積み置かれた廃棄物を撤去することである。
2	・底地も汚染されているので 50 cm 位の土砂を撤去すべきではないか。	・廃棄物の完全撤去のため、地山の表面を数 cm から多いところで 20 cm 位鋤取った。また、水質検査の結果に異常がないことを確認しており、支障は来していない。
3	・行政はいつも「やってあげている」との姿勢。意見を言っても聞かないのでは、視察会をやる意味がない。	・No.1 と同じ
4	・山側の掘削跡は急峻だが、崩れる心配はないのか。	・樹木も茂っており、崩れる心配はないと考えている。
5	・谷側の L 型擁壁は撤去するのか。	・市有地内の土砂の安定に有効に機能すると考えており、撤去しない。



📷 H30.6.30 撮影の上空写真

■三和村土地改良区主催の現地視察…7 月 19 日（木）に 14 人が参加、終盤を迎えた廃棄物撤去の現場をご覧になられました。現場において寄せられた主な感想は次のとおりです。

- ここまで立派に仕上げてもらい、ありがたい。
- 事業終了後も水質検査を継続すると聞いた。今後もしっかり確認を続けてほしい。
- これ以上、何も要求することはない。
- 耕作に影響のない状態になったことを確認できてよかった。
- 4 億円もの多額の税金を入れて、整備してもらい評価したい。



📷 7 月 14 日開催の市主催の現地視察会



📷 7 月 19 日開催の三和村土地改良区主催の現地視察

3 騒音測定と水質検査結果

別紙のとおりです。異常はありませんでした。

【問い合わせ先】 何かお気づきの点や不明な点等がありましたら、以下の部署へお問い合わせください。

① 三和区総合事務所 市民生活・福祉グループ 電話 025-532-2323

② 生活環境課 施設整備係 電話 025-520-2088